



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 南陽

上場取引所 東 福

コード番号 7417 URL <https://www.nanyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武内 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 篠崎 学 TEL 092-472-7331

四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,230	14.9	902	32.9	933	33.8	579	38.5
2019年3月期第2四半期	19,078	9.3	1,345	20.0	1,409	15.0	941	16.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 598百万円 (18.6%) 2019年3月期第2四半期 735百万円 (30.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	90.94	
2019年3月期第2四半期	147.84	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	30,381	17,639	58.1
2019年3月期	33,482	17,428	52.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 17,639百万円 2019年3月期 17,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		61.00	76.00
2020年3月期		15.00			
2020年3月期(予想)				47.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当 56円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	35,000	9.2	1,900	26.9	2,000	26.2	1,300	28.0
								204.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	6,615,070 株	2019年3月期	6,615,070 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	247,405 株	2019年3月期	247,405 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	6,367,665 株	2019年3月期2Q	6,367,672 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き雇用・所得環境の改善によりゆるやかな回復基調が見られるものの、米中貿易摩擦の激化等による世界経済の不確実性が高まる等、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループの連結業績につきましては、概ね計画通りに推移し、売上高は16,230百万円（前年同期比14.9%減）、営業利益は902百万円（前年同期比32.9%減）、経常利益は933百万円（前年同期比33.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は579百万円（前年同期比38.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建設機械事業

建設機械事業におきましては、消費税増税前の駆け込み需要の動きが見られたものの、災害復旧工事需要が一巡したことで、市場に落ち着きが見られる中、販売部門においては好調が続く沖縄地区を中心に既存取引先の需要の掘り起こしに努めるとともに、社会インフラの補修に関連する商品の販売強化にも取り組んでまいりました。また、レンタル部門においても災害復旧工事に重点がおかれ、発注が遅れていた通常の公共工事需要の取り込みに注力したことにより、売上高は6,738百万円（前年同期比3.5%増）となりましたが、セグメント利益は714百万円（前年同期比9.0%減）となりました。

② 産業機器事業

産業機器事業におきましては、スマートフォン需要の落ち込みによりロボット業界や電子部品・半導体業界における在庫調整や設備投資抑制の動きが継続する中、新商品の開拓と提案営業の強化に努めるとともに、新たな生産部品や消耗部品の販売強化にも努めてまいりました。しかしながら、一部取引先の在庫調整や設備投資抑制の動きが継続したことに加え、設備機械の納入時期が一部下期へ後ろ倒しになったことにより、売上高は9,250百万円（前年同期比25.2%減）、セグメント利益は375百万円（前年同期比50.8%減）となりました。

③ 砕石事業

砕石事業におきましては、事業を展開する地域において、災害復旧工事関連以外の公共工事需要が回復し、発注が遅れていた護岸工事や治水工事等への取り組みが本格化する中、中小規模の民間工事並びに公共工事への営業強化による受注獲得に努めるとともに、製造コストの価格転嫁に向けて販売単価の交渉にも努めてまいりました。この結果、売上高は242百万円（前年同期比23.1%増）、セグメント利益は21百万円（前年同期比781.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

資産は、前連結会計年度に比べ3,101百万円減少(9.3%減)し、30,381百万円となりました。増減の主な内容は、受取手形及び売掛金が1,884百万円、商品及び製品が424百万円、電子記録債権が379百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度に比べ3,311百万円減少(20.6%減)し、12,742百万円となりました。増減の主な内容は、支払手形及び買掛金が2,842百万円、未払法人税等が247百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べ210百万円増加(1.2%増)し、17,639百万円となりました。増減の主な内容は、利益剰余金が190百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は58.1%と前連結会計年度に比べ6.0ポイント上昇いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ111百万円減少(2.5%減)し、4,295百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその増減の要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金の増加は1,143百万円(前年同期は384百万円の減少)となりました。これは主に前第2四半期連結累計期間に比べ、仕入債務の減少により資金が減少したものの、売上債権の減少及びたな卸資産の減少により資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動による資金の減少は493百万円(前年同期は217百万円の減少)となりました。これは主に前第2四半期連結累計期間に比べ、有形固定資産の取得による支出が増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動による資金の減少は759百万円(前年同期は808百万円の減少)となりました。これは主に前第2四半期連結累計期間に比べ、長期借入の返済による支出が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は、概ね計画どおりに推移しており、業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,413	4,301
受取手形及び売掛金	10,782	8,898
電子記録債権	2,085	1,705
貸貸料等未収入金	717	587
商品及び製品	4,271	3,846
仕掛品	130	90
原材料及び貯蔵品	13	12
その他	784	605
貸倒引当金	△300	△408
流動資産合計	22,898	19,640
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	5,847	5,908
その他(純額)	2,526	2,609
有形固定資産合計	8,374	8,518
無形固定資産		
のれん	55	46
その他	38	41
無形固定資産合計	94	87
投資その他の資産		
投資有価証券	1,784	1,812
その他	352	334
貸倒引当金	△22	△12
投資その他の資産合計	2,114	2,133
固定資産合計	10,582	10,740
繰延資産		
開発費	1	0
繰延資産合計	1	0
資産合計	33,482	30,381

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,300	8,457
短期借入金	1,031	1,025
1年内返済予定の長期借入金	216	133
リース債務	681	638
未払法人税等	540	293
賞与引当金	324	262
役員賞与引当金	69	-
割賦利益繰延	270	239
その他	574	615
流動負債合計	15,008	11,666
固定負債		
長期借入金	66	33
その他の引当金	399	403
退職給付に係る負債	354	358
その他	224	280
固定負債合計	1,045	1,076
負債合計	16,053	12,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,181	1,181
資本剰余金	1,015	1,015
利益剰余金	14,756	14,947
自己株式	△231	△231
株主資本合計	16,722	16,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	621	677
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	85	48
その他の包括利益累計額合計	706	726
純資産合計	17,428	17,639
負債純資産合計	33,482	30,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	19,078	16,230
売上原価	15,917	13,385
差引売上総利益	3,160	2,844
割賦販売未実現利益戻入額	100	69
割賦販売未実現利益繰入額	52	39
売上総利益	3,208	2,875
販売費及び一般管理費	1,863	1,972
営業利益	1,345	902
営業外収益		
受取利息	13	7
受取配当金	14	16
持分法による投資利益	14	3
貸倒引当金戻入額	9	18
その他	30	18
営業外収益合計	82	65
営業外費用		
支払利息	15	10
為替差損	3	23
その他	—	0
営業外費用合計	18	34
経常利益	1,409	933
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	5	25
特別利益合計	5	25
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	1	0
投資有価証券評価損	—	4
出資金評価損	6	—
特別損失合計	8	5
税金等調整前四半期純利益	1,406	953
法人税、住民税及び事業税	404	301
法人税等調整額	60	73
法人税等合計	465	374
四半期純利益	941	579
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	941	579

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	941	579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△165	53
繰延ヘッジ損益	4	0
為替換算調整勘定	△27	△22
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	△11
その他の包括利益合計	△206	19
四半期包括利益	735	598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	735	598
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,406	953
減価償却費	694	718
のれん償却額	9	9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	97
賞与引当金の増減額(△は減少)	△54	△61
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10	4
受取利息及び受取配当金	△28	△23
支払利息	15	10
持分法による投資損益(△は益)	△14	△3
固定資産除売却損益(△は益)	1	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△5	△25
投資有価証券評価損益(△は益)	—	4
出資金評価損	6	—
売上債権の増減額(△は増加)	△929	2,381
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,030	458
仕入債務の増減額(△は減少)	184	△2,841
その他	△115	△26
小計	132	1,658
利息及び配当金の受取額	47	43
利息の支払額	△14	△11
法人税等の支払額	△550	△546
営業活動によるキャッシュ・フロー	△384	1,143
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△324	△710
有形固定資産の売却による収入	120	184
無形固定資産の取得による支出	△2	△7
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	12	44
貸付金の回収による収入	0	0
その他の支出	△24	△3
その他の収入	2	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△217	△493
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100	△4
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△330	△250
長期借入金の返済による支出	△233	△116
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△343	△388
財務活動によるキャッシュ・フロー	△808	△759
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,416	△111
現金及び現金同等物の期首残高	5,323	4,407
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,906	4,295

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	6,511	12,370	196	19,078	—	19,078
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	27	15	—	43	△43	—
計	6,539	12,385	196	19,122	△43	19,078
セグメント利益	784	763	2	1,550	△205	1,345

(注) 1 セグメント利益の調整額△205百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	6,738	9,250	242	16,230	—	16,230
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	22	—	40	△40	—
計	6,755	9,272	242	16,270	△40	16,230
セグメント利益	714	375	21	1,111	△208	902

(注) 1 セグメント利益の調整額△208百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。